

寒山寺の鐘

法華経が鑄された鐘にビックリ。これは何だ！と度肝を抜かれる思いがした。重さ 108 トン、高さ 8.5m、最大径 5.2mのこれまでに見たこともない巨大な釣鐘であった。それは 2005 年寒山寺が発注した 5 代目にあたる鐘で、銅の純度も高く武漢の工房で製造されたもの。

寒山寺は蘇州駅の南南西 3 k m の地点にある南北朝時代に創建された臨済宗の仏教寺院内にある。これまで清代末期に戦火で焼かれ、1860 年に再建されて現在に至っている。

この寒山寺は日本でも有名になっている。それは「蘇州夜曲」として映画「支那の夜」(昭和 15 年公開)の劇中歌として発表。

1953 (昭和 28) 年には山口淑子が自身主演の映画「抱擁」の主題歌として発表している。

「♪～髪に飾ろうか 接吻(くちづけ)しよか 君が手折(たお)りし 桃の花 涙ぐむよな おぼろの月 鐘が鳴ります 寒山寺～♪」これは 3 番の歌詞である。1 番には「夢の船頭」とか「水の蘇州」などの運河の歌詞が入っている。

毎年の大晦日は寒山寺の除夜の鐘を聞きながら、新年を迎える行事が盛大に営まれている。この一大イベントは中国のみならず日本からも多くの観光客を集めている。 撮影 2010 年夏

